



# 2020年3月期 第1四半期決算報告

2019年8月6日

株式会社 **ニコン**

## 2020年3月期 Q1実績

- 一眼レフカメラの初級機・中級機の販売台数減少、FPD露光装置の販売台数減少等により、前年比240億円減収、97億円減益
- Q1営業利益は前年比51%減益の93億円だが、通期見通しに対してはほぼ計画通り進捗
- 自己株式6,667,200株（発行済株式総数の約1.7%）を5月10日～6月20日に約100億円で取得

## 2020年3月期 通期見通し

- 上期売上収益 2,900億円、通期売上収益 6,700億円（前回予想据え置き）
- 上期営業利益 150億円、通期営業利益 520億円（前回予想据え置き）
- 上期当期利益 130億円、通期当期利益 420億円（前回予想据え置き）
- ROE：7%
- 年間配当金：60円（中間配当金：30円、予想配当性向：56.1%）

# 2020年3月期 Q1：連結売上収益・損益



単位：億円	19年3月期 Q1実績	20年3月期 Q1実績	前年 実績比
売上収益	1,669	1,429	▲240
営業利益	190	93	▲97
営業利益率	11.4%	6.5%	
税引前利益	219	107	▲112
税引前利益率	13.1%	7.5%	
当期利益 (親会社の所有者に帰属)	163	82	▲81
当期利益率	9.8%	5.7%	
FCF	276	▲7	▲283
為替：USドル	109円	110円	売上収益への影響 ▲19
ユーロ	130円	124円	営業利益への影響 ▲9

FCFは前年比、前受金の増加が小さくなったことや国内協力会社への支払条件変更等により減少

# 2020年3月期 Q1：セグメント別業績



単位：億円		19年3月期 Q1実績	20年3月期 Q1実績	前年 実績比
映像事業	売上収益	791	<b>673</b>	▲15%
	営業利益	124	<b>35</b>	▲89億円
精機事業	売上収益	590	<b>509</b>	▲14%
	営業利益	141	<b>101</b>	▲40億円
ヘルスケア事業	売上収益	133	<b>129</b>	▲3%
	営業利益	▲21	<b>▲19</b>	+2億円
産業機器・その他	売上収益	154	<b>117</b>	▲24%
	営業利益	11	<b>4</b>	▲7億円
各セグメントに配賦 されない全社損益	売上収益	—	—	—
	営業利益	▲65	<b>▲29</b>	+36億円
連結	売上収益	1,669	<b>1,429</b>	▲14%
	営業利益	190	<b>93</b>	▲97億円

各セグメントに配賦されない全社損益には遊休地売却益38億円を含む

# 2020年3月期 Q1：映像事業



単位：億円	19年3月期 Q1実績	20年3月期 Q1実績	前年 実績比
売上収益	791	673	▲118
営業利益	124	35	▲89
営業利益率	15.7%	5.2%	
レンズ交換式 デジタルカメラ	57万台	45万台	▲12万台
交換レンズ	89万本	74万本	▲15万本
コンパクト デジタルカメラ	43万台	27万台	▲16万台

## Q1前年比：

- フルサイズ高級機の販売台数はミラーレスカメラが貢献し欧米を中心に前年を上回ったが、中国・アジアを中心に一眼レフカメラの初級機・中級機の販売台数減少の影響が大きく減収
- 減収影響に加え、ミラーレスカメラ用レンズ新製品の初期費用負担もあり減益

# 2020年3月期 Q1：精機事業



単位：億円	19年3月期 Q1実績	20年3月期 Q1実績	前年 実績比
売上収益	590	509	▲81
営業利益 営業利益率	141 23.9%	101 19.8%	▲40
FPD露光装置	19台	9台	▲10台
半導体露光装置 新品／中古	3/4台	6/1台	+3/▲3台

## Q1前年比：

- FPD装置事業は、中国メーカーのTV向け設備投資が8世代から10.5世代にシフトした影響により、8世代装置の販売台数が大幅に減少し減収減益
- 半導体装置事業は、ArF液浸露光装置等、新品の販売台数増により増収増益

# 2020年3月期 Q1：ヘルスケア事業



単位：億円	19年3月期 Q1実績	20年3月期 Q1実績	前年 実績比
売上収益	133	129	▲4
営業利益	▲21	▲19	+2
営業利益率	▲15.8%	▲14.7%	

## Q1前年比：

- 網膜画像診断機器は増収となったが、生物顕微鏡が米州以外の地域で減収となり、事業全体ではわずかに減収
- 生物顕微鏡の原価改善や長期成長領域の投資テーマ絞り込み等の結果、赤字幅縮小

# 2020年3月期 Q1：産業機器・その他



単位：億円	19年3月期 Q1実績	20年3月期 Q1実績	前年 実績比
売上収益	154	117	▲37
営業利益	11	4	▲7
営業利益率	7.1%	3.4%	

## Q1前年比：

- 産業機器・その他事業ともに顧客の設備投資後ろ倒し等の影響により減収、減益影響は経費抑制で一部カバー

# 2020年3月期 通期見通し：連結売上収益・損益



単位：億円	19年3月期 実績	前回予想 (期初時点)	今回予想 (Q1時点)	前年 実績比	前回 予想比
売上収益	7,086	6,700	<b>6,700</b>	▲386	±0
営業利益	826	520	<b>520</b>	▲306	±0
営業利益率	11.7%	7.8%	<b>7.8%</b>		
税引前利益	879	550	<b>550</b>	▲329	±0
税引前利益率	12.4%	8.2%	<b>8.2%</b>		
当期利益 (親会社の所有者に帰属)	665	420	<b>420</b>	▲245	±0
当期利益率	9.4%	6.3%	<b>6.3%</b>		
EPS	167.86円	105.99円	<b>106.89円</b>	▲60.97円	+0.90円
年間配当	60円	60円	<b>60円</b>	±0	±0
FCF	435	400	<b>400</b>	▲35	±0
為替：USD	111円	105円	<b>106円</b>	売上収益への予想影響 ▲154   +24	
ユーロ	128円	125円	<b>125円</b>	営業利益への予想影響 ▲33   ▲1	

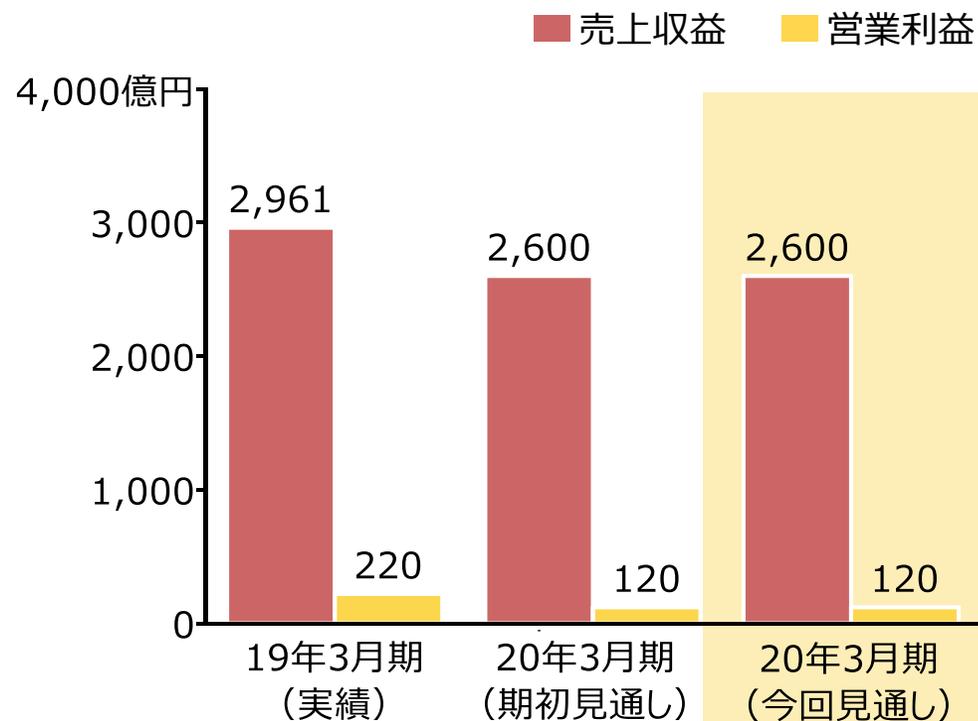
注：EPS（基本的1株当たり当期利益）＝当期利益÷期中平均株式数（19年3月期実績の約3.96億株、今回予想のみ20年3月期末見込株数との平均約3.93億株で計算）

# 2020年3月期 通期見通し：セグメント別業績



単位：億円		19年3月期 実績	前回予想 (期初時点)	今回予想 (Q1時点)	前年 実績比	前回 予想比
映像事業	売上収益	2,961	2,600	<b>2,600</b>	▲12.2%	±0%
	営業利益	220 (226)	120	<b>120</b>	▲100億円	±0億円
精機事業	売上収益	2,745	2,700	<b>2,700</b>	▲1.6%	±0%
	営業利益	817 (817)	560	<b>560</b>	▲257億円	±0億円
ヘルスケア事業	売上収益	654	650	<b>650</b>	▲0.6%	±0%
	営業利益	▲19 (▲19)	▲10	<b>▲10</b>	+9億円	±0億円
産業機器・その他	売上収益	725	750	<b>750</b>	+3.4%	±0%
	営業利益	69 (75)	60	<b>60</b>	▲9億円	±0億円
各セグメントに配賦 されない全社損益	売上収益	—	—	—	—	—
	営業利益	▲261 (▲256)	▲210	<b>▲210</b>	+51億円	±0億円
連結	売上収益	7,086	6,700	<b>6,700</b>	▲5.4%	±0%
	営業利益	826 (844)	520	<b>520</b>	▲306億円	±0億円

注：営業利益の（ ）内数値は、構造改革関連費用を除いた値



## ● 売上収益：前回予想据え置き 361億円減収

- カメラ市場の縮小が継続、各カテゴリで販売台数減少
- ミラーレスカメラとZマウントレンズの拡販に努めるが、一眼レフカメラ初級機・中級機やコンパクトカメラの減収が上回る

## ● 営業利益：前回予想据え置き 100億円減益

- ミラーレスラインアップ拡充のための投資負担が前期より更に増加
- 徹底的な効率化により、販売経費等の削減をはかり、減収による減益影響を一部挽回

### レンズ交換式デジタルカメラ (万台)

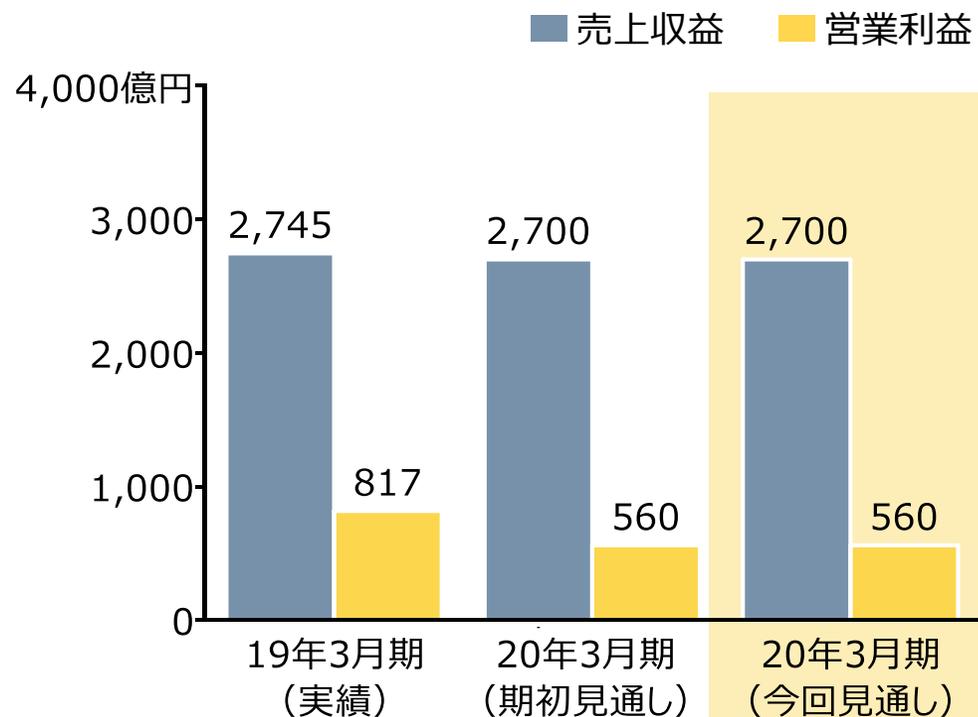
市場規模	1,004	850	850
ニコン	206	160	160

### 交換レンズ (万本)

市場規模	1,696	1,450	1,450
ニコン	317	260	260

### コンパクトデジタルカメラ (万台)

市場規模	822	600	600
ニコン	160	100	100



## ● 売上収益：前回予想据え置き 45億円減収

- FPD：高単価の10.5世代装置台数は増えるが6・8世代装置の台数減の影響大きく減収
- 半導体：当社顧客の設備投資は引き続き堅調に推移  
新品装置の台数増が寄与し増収

## ● 営業利益：前回予想据え置き 257億円減益

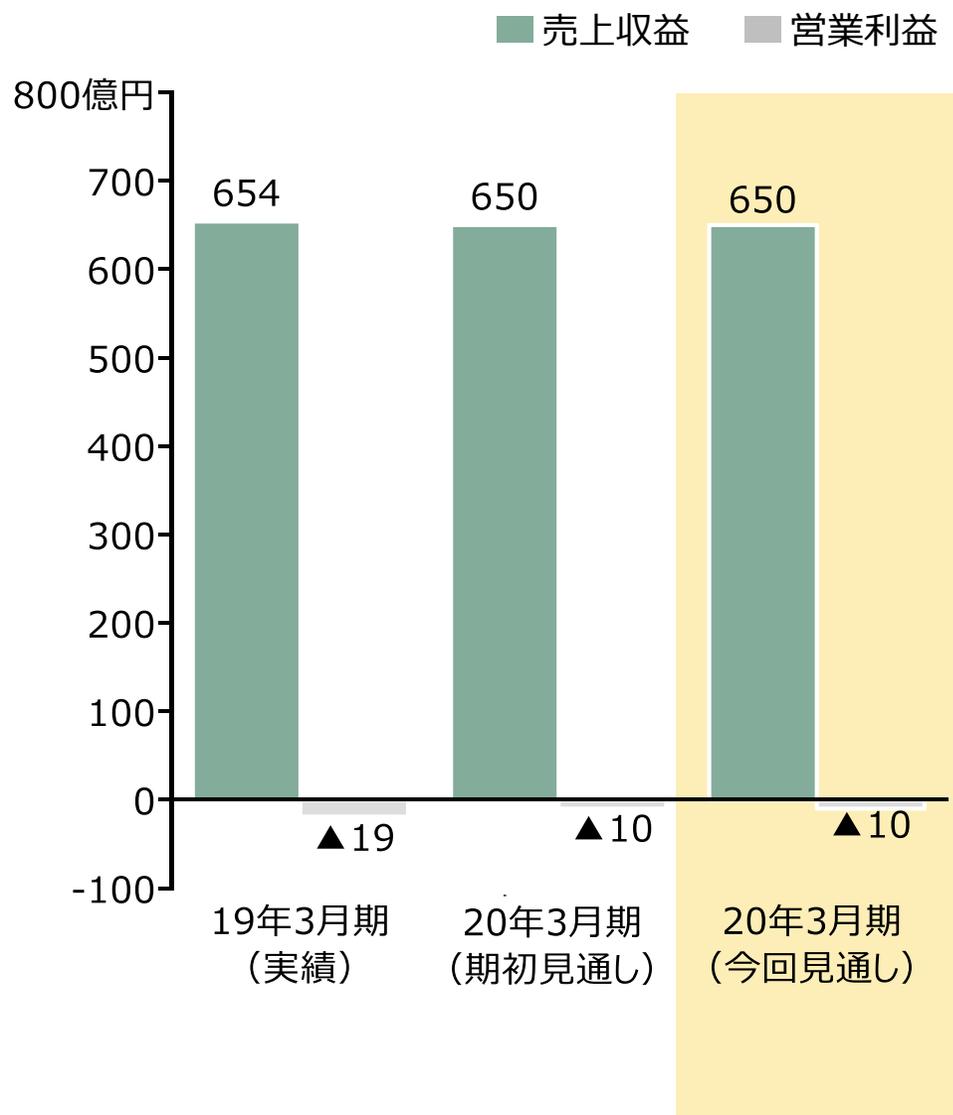
- 2019年3月期営業利益は訴訟和解の一時利益を除くと約667億円
- FPDの減益を半導体の増益で一部挽回

### FPD露光装置販売台数 (台)

市場規模 (CY18/19)	142	100	100
ニコン	70	37	37

### 半導体露光装置販売台数 (新品/中古、台)

市場規模 (CY18/19)	300	250	250
ニコン	21/20	31/14	31/14

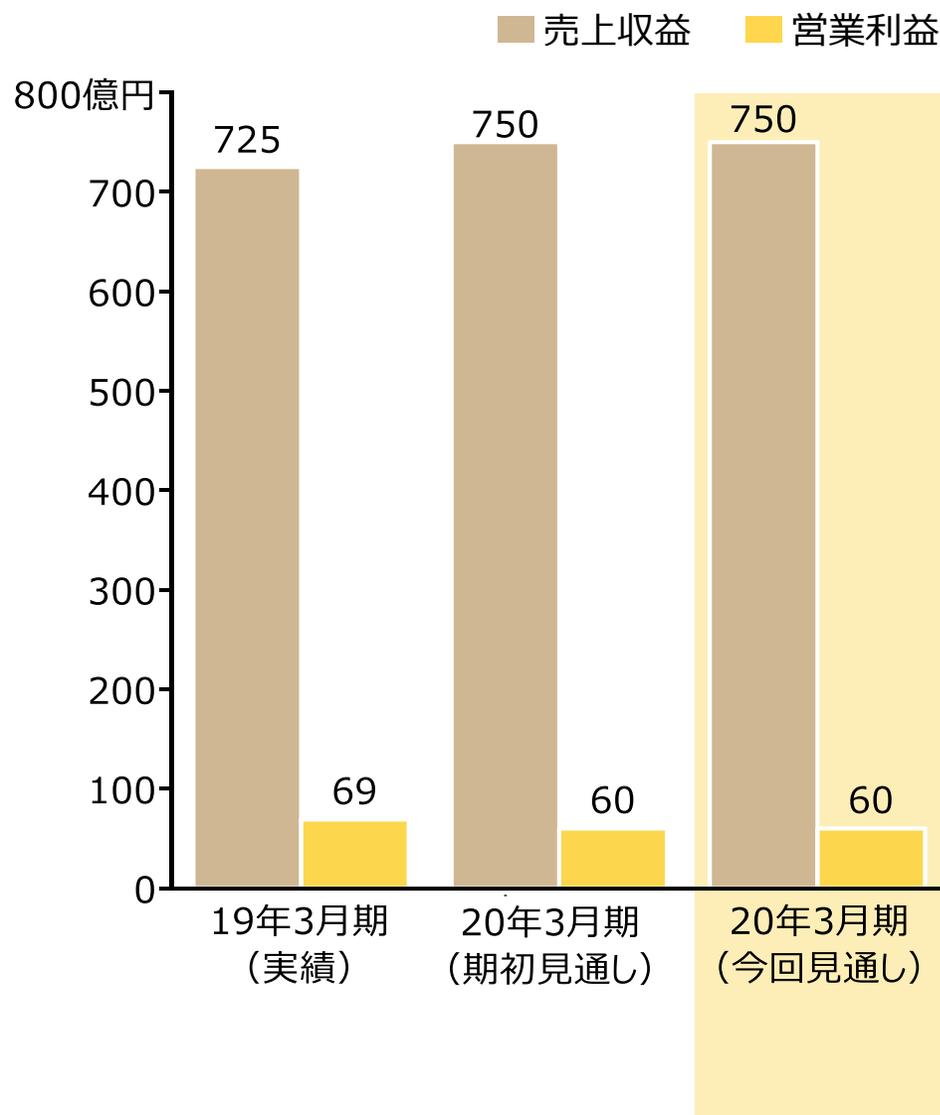


## ● 売上収益：前回予想据え置き 4億円減収

- 生物顕微鏡・網膜画像診断機器ともに堅調だが、為替のマイナス影響によりほぼ横ばい

## ● 営業利益：前回予想据え置き 9億円改善

- 再生医療分野および眼科診断分野での投資テーマを絞り込み赤字は半減、来期黒字化を目指す



## ● 売上収益：前回予想据え置き 25億円増収

- 産業機器：X線検査装置・3次元非接触測定機はシェア拡大により増収

## ● 営業利益：前回予想据え置き 9億円減益

- 産業機器：構造改革により収益性は着実に改善
- セグメント全体ではコンポーネント事業等、将来の成長に向けた投資継続のため減益

- 本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現在における入手可能な情報に基づき当社が判断した内容であり、潜在的リスクおよび不確実性が含まれます。このため、今後様々な要因の変化によって、実際の業績は記述されている内容と大きく異なる場合があることをご承知おきください



# 参考資料

# 2020年3月期 通期見通し：連結売上収益・損益



単位：億円	17年3月期	18年3月期	19年3月期			20年3月期見通し		
	通期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上収益	7,492	7,170	3,357	3,729	7,086	<b>2,900</b>	<b>3,800</b>	<b>6,700</b>
営業利益	7	562	306	520	826	<b>150</b>	<b>370</b>	<b>520</b>
営業利益率	0.1%	7.8%	9.1%	13.9%	11.7%	<b>5.2%</b>	<b>9.7%</b>	<b>7.8%</b>
税引前利益	30	562	338	541	879	<b>170</b>	<b>380</b>	<b>550</b>
税引前利益率	0.4%	7.8%	10.1%	14.5%	12.4%	<b>5.9%</b>	<b>10.0%</b>	<b>8.2%</b>
当期利益 (親会社の所有者に帰属)	39	347	228	437	665	<b>130</b>	<b>290</b>	<b>420</b>
当期利益率	0.5%	4.8%	6.8%	11.7%	9.4%	<b>4.5%</b>	<b>7.6%</b>	<b>6.3%</b>
ROE	0.7%	6.3%	11.2%			7%		
FCF	566	902	435			400		
為替：USドル	108円	111円	110円	112円	111円	<b>106円</b>		
ユーロ	119円	130円	130円	127円	128円	<b>125円</b>		

注：19年3月期からは、従来販売管理費として計上していた販売促進費の一部を売上収益から控除。19年3月期の売上収益は83億円の控除後の金額

# 2020年3月期 通期見通し：セグメント別業績



単位：億円		17年3月期	18年3月期	19年3月期			20年3月期見通し		
		通期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
映像事業	売上収益	3,830	3,607	1,509	1,452	2,961	1,200	1,400	2,600
	営業利益	171 (281)	302 (360)	132 (136)	88 (90)	220 (226)	30	90	120
精機事業	売上収益	2,480	2,263	1,216	1,529	2,745	1,100	1,600	2,700
	営業利益	134 (481)	533 (533)	298 (298)	519 (519)	817 (817)	230	330	560
ヘルスケア事業	売上収益	557	568	294	360	654	300	350	650
	営業利益	▲6 (▲1)	▲32 (▲32)	▲23 (▲23)	4 (4)	▲19 (▲19)	▲30	20	▲10
産業機器・その他	売上収益	624	732	337	388	725	300	450	750
	営業利益	37 (55)	50 (78)	27 (35)	42 (40)	69 (75)	10	50	60
各セグメントに配賦 されない全社損益	売上収益	—	—	—	—	—	—	—	—
	営業利益	▲328 (▲275)	▲291 (▲291)	▲128 (▲128)	▲133 (▲128)	▲261 (▲256)	▲90	▲120	▲210
連結	売上収益	7,492	7,170	3,357	3,729	7,086	2,900	3,800	6,700
	営業利益	7 (541)	562 (649)	306 (318)	520 (526)	826 (844)	150	370	520

注：19年3月期からは、従来販売管理費として計上していた販売促進費の一部を売上収益から控除。19年3月期の売上収益は83億円の控除後の金額  
営業利益の（ ）内数値は、構造改革関連費用を除いた値

# 2020年3月期Q1: セグメント別業績



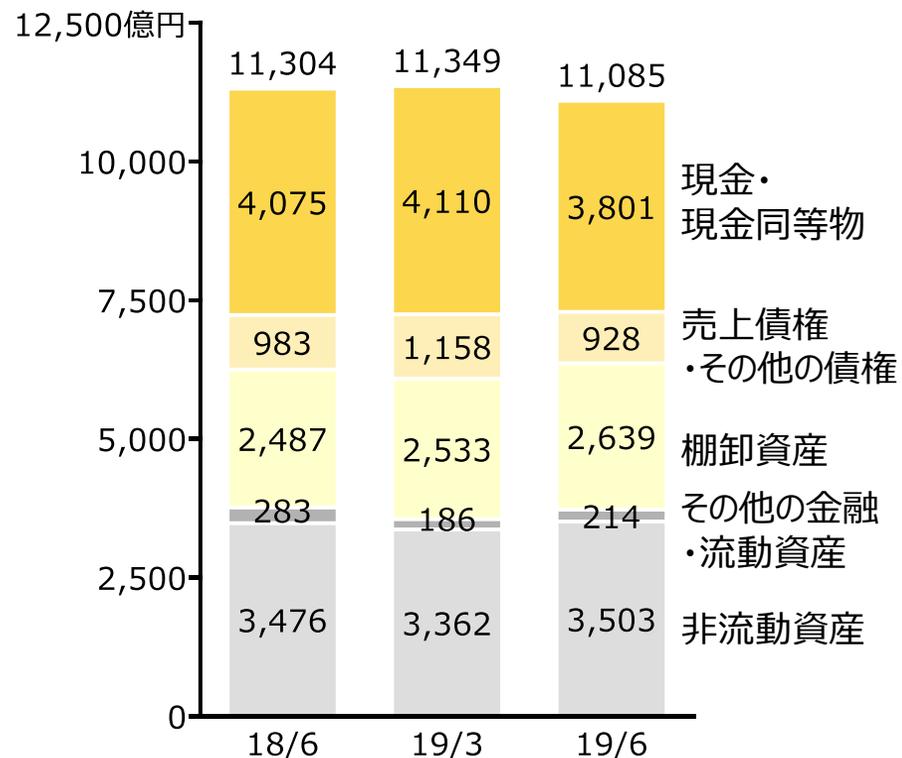
単位：億円		19年3月期				20年3月期
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
映像事業	売上収益	791	718	905	547	<b>673</b>
	営業利益	124 (124)	8 (12)	86 (86)	2 (4)	<b>35</b>
精機事業	売上収益	590	626	647	882	<b>509</b>
	営業利益	141 (141)	157 (157)	174 (174)	345 (345)	<b>101</b>
ヘルスケア事業	売上収益	133	161	163	197	<b>129</b>
	営業利益	▲21 (▲21)	▲2 (▲2)	▲2 (▲2)	6 (6)	<b>▲19</b>
産業機器・その他	売上収益	154	183	190	198	<b>117</b>
	営業利益	11 (11)	16 (24)	21 (21)	21 (19)	<b>4</b>
各セグメントに配賦 されない全社損益	売上収益	—	—	—	—	—
	営業利益	▲65 (▲65)	▲63 (▲63)	▲60 (▲60)	▲73 (▲68)	<b>▲29</b>
連結	売上収益	1,669	1,688	1,905	1,824	<b>1,429</b>
	営業利益	190 (190)	116 (128)	219 (220)	301 (306)	<b>93</b>

注:営業利益の( )内数値は、構造改革関連費用を除いた値

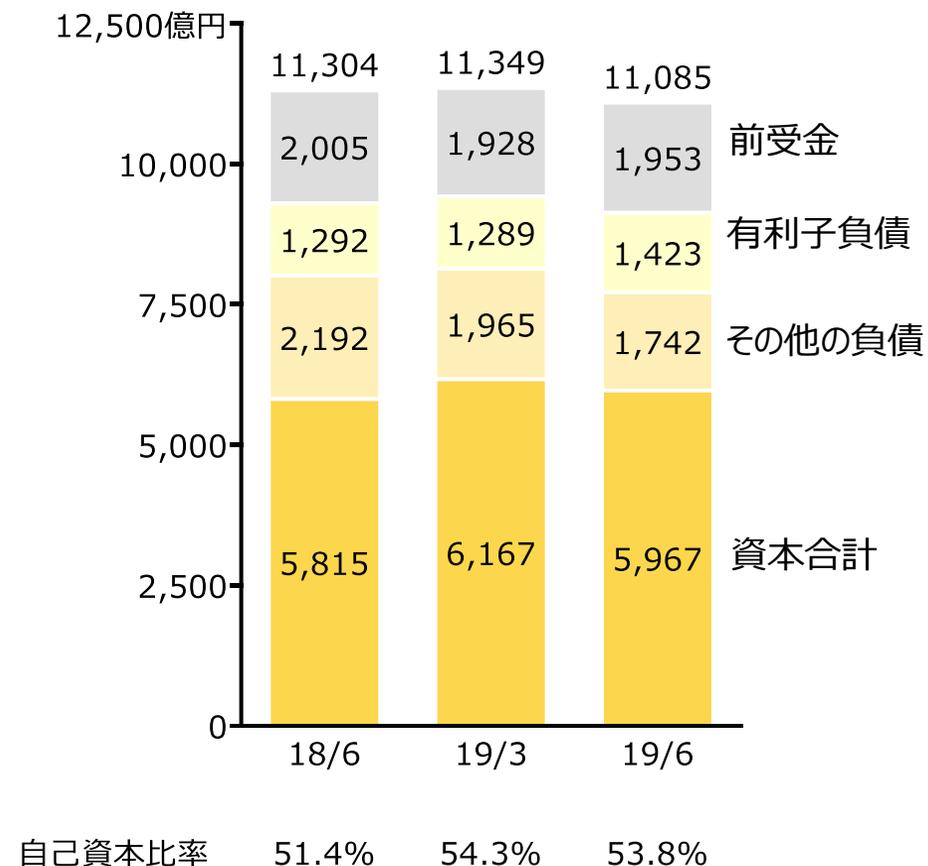
# 2020年3月期 Q1：財政状態計算書



## 資産



## 負債・資本

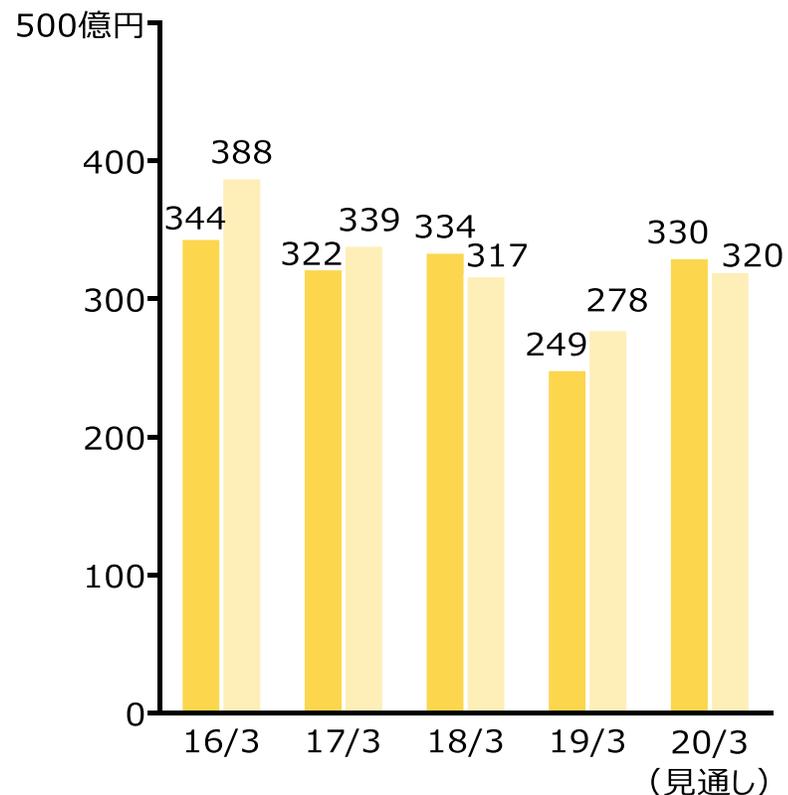


注: 19年6月末の有利子負債の内訳は社債で299億円、その他の借入金等で1,124億円  
 自己資本比率 = 親会社所有者帰属持分比率。現金・現金同等物には3ヶ月超の定期預金残高を含めず表示

# 2020年3月期 通期見通し：設備投資・減価償却費・棚卸資産

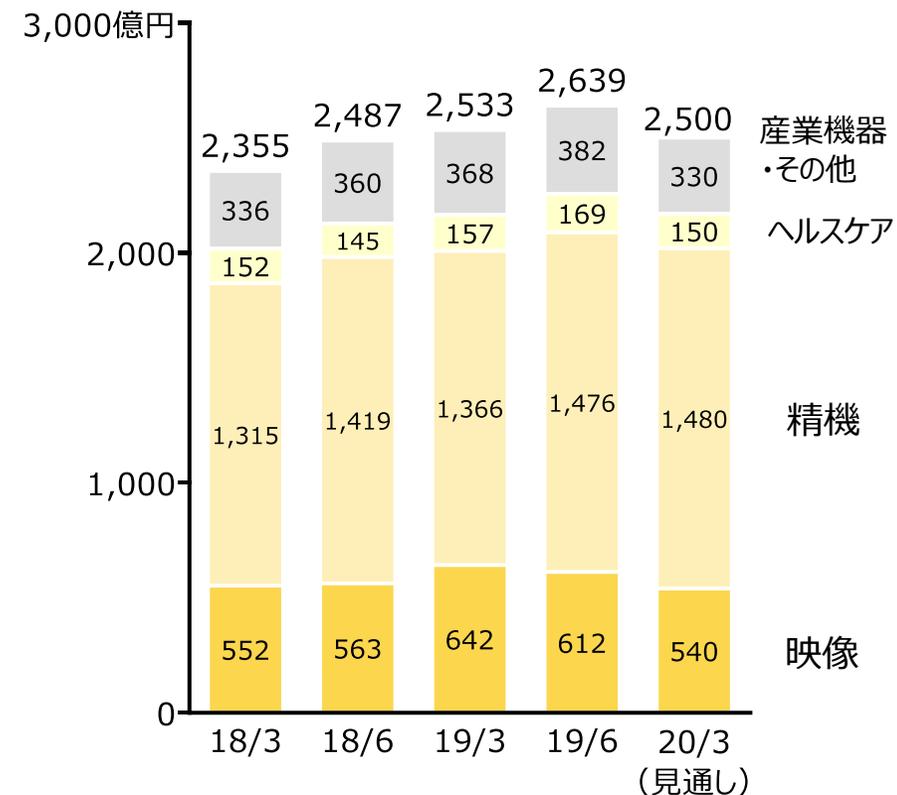


## 設備投資・減価償却費



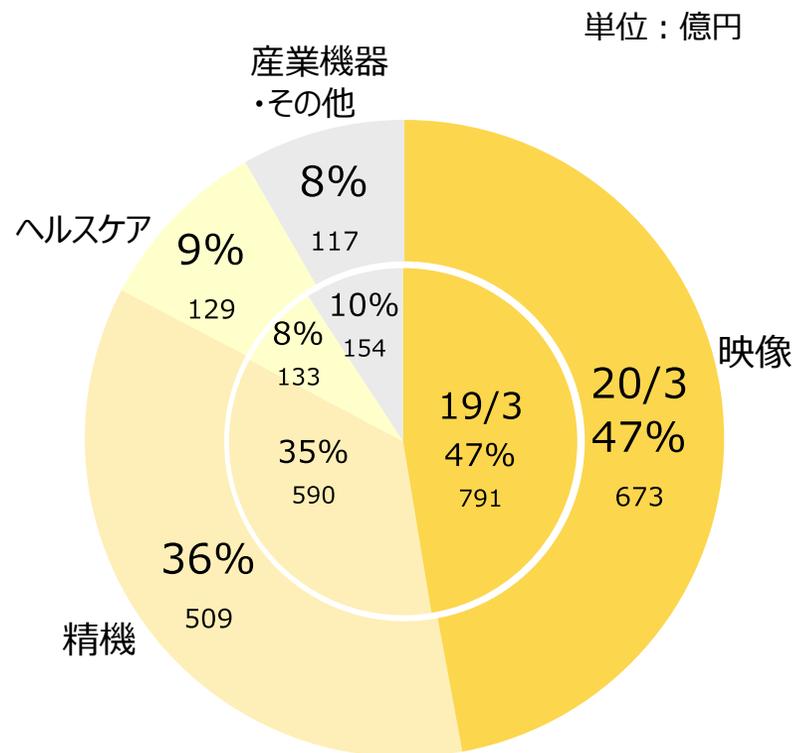
■ 設備投資 ■ 減価償却費

## 棚卸資産

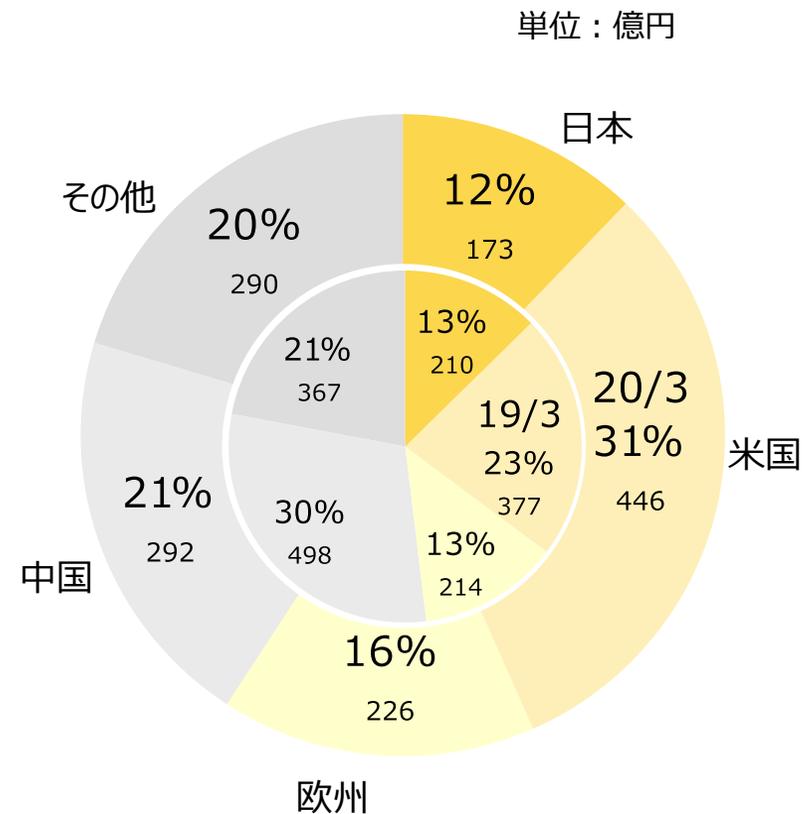


注：「設備投資」は2020年3月期には、IFRS第16号適用によりリース資産約30億円を含めて表示  
 「減価償却費」の2018年3月期以降は仕掛開発費の償却も含めて表示、2020年3月期には上記と同様にリース資産約40億円を含めて表示

## セグメント別内訳

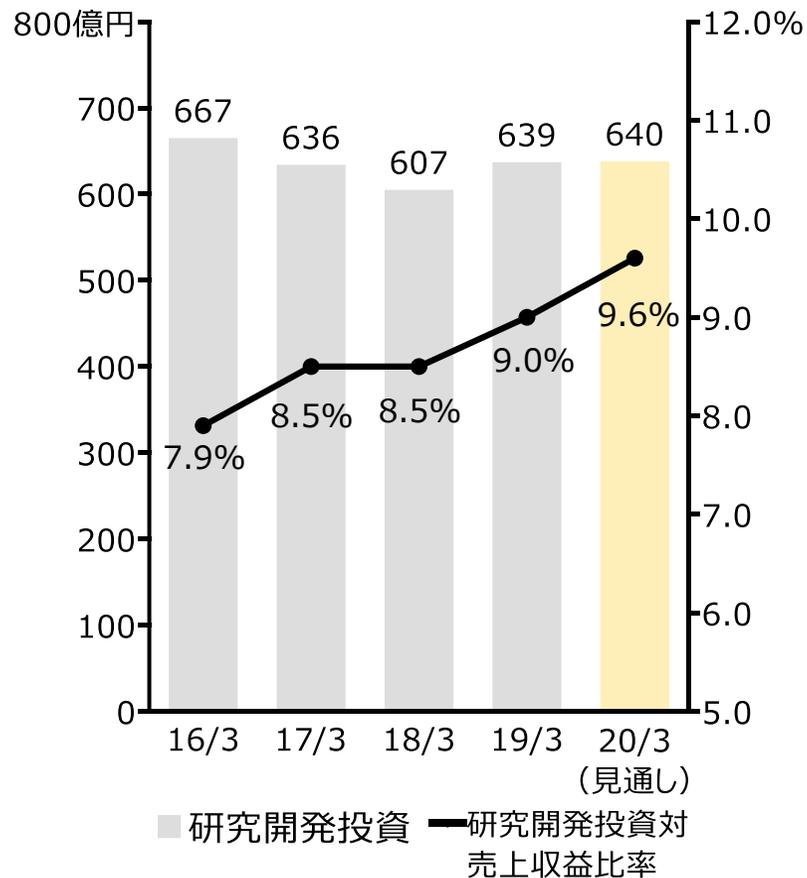


## 地域別内訳



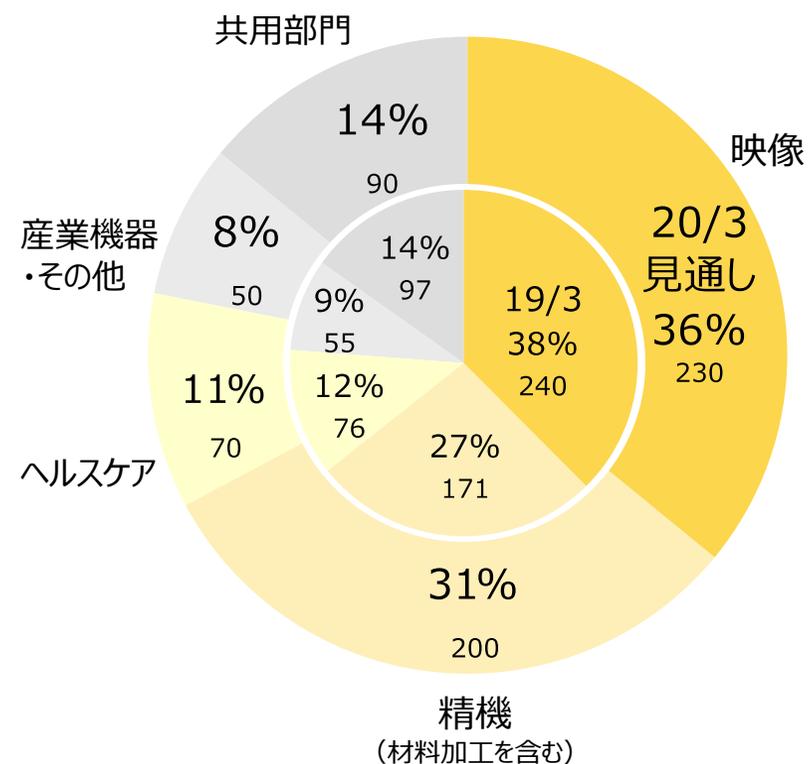
注： 外円は「2020年3月期Q1売上収益1,429億円」の内訳、内円は「2019年3月期Q1売上収益1,669億円」の内訳を表示

## 研究開発投資



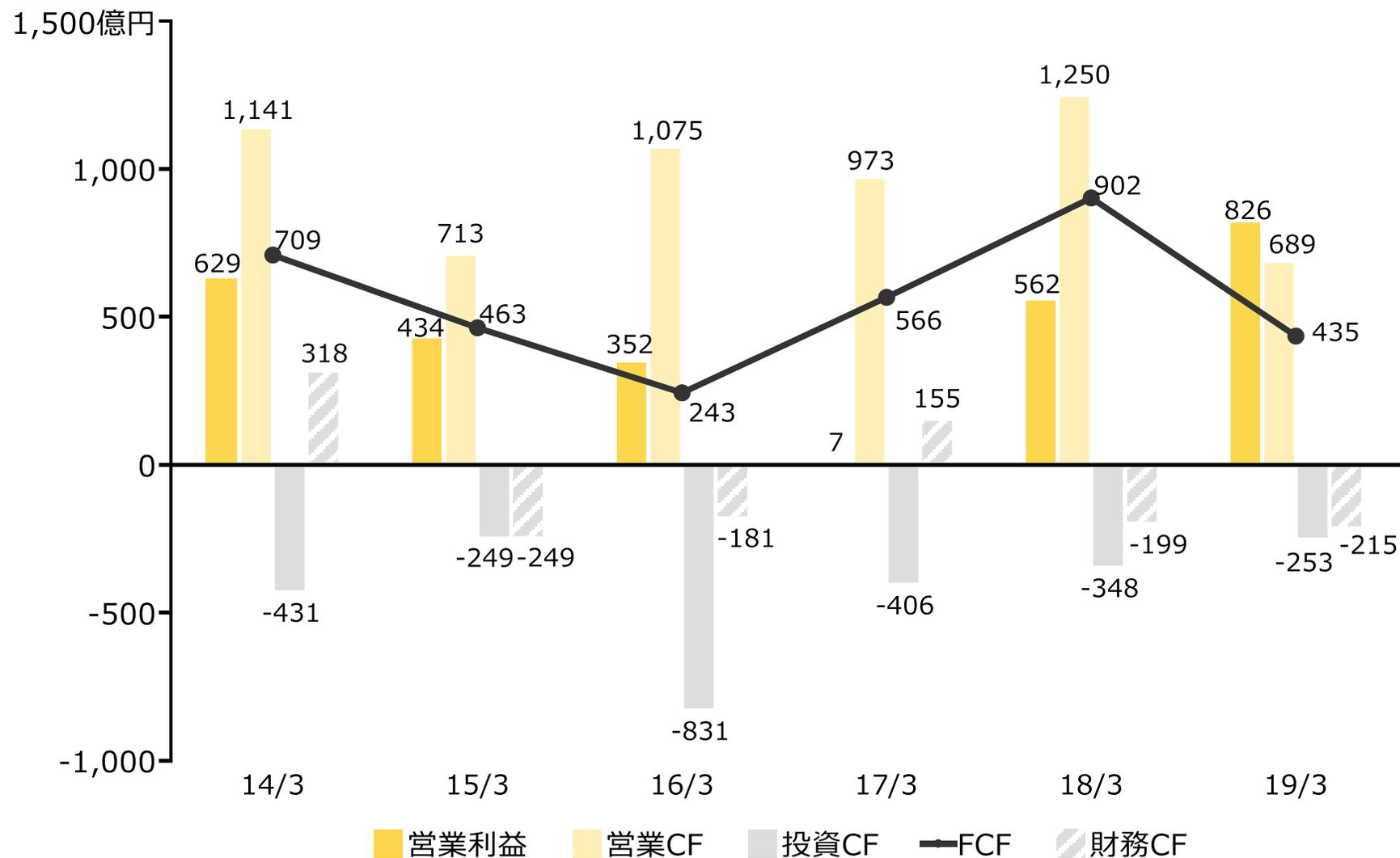
## 研究開発投資内訳

単位：億円

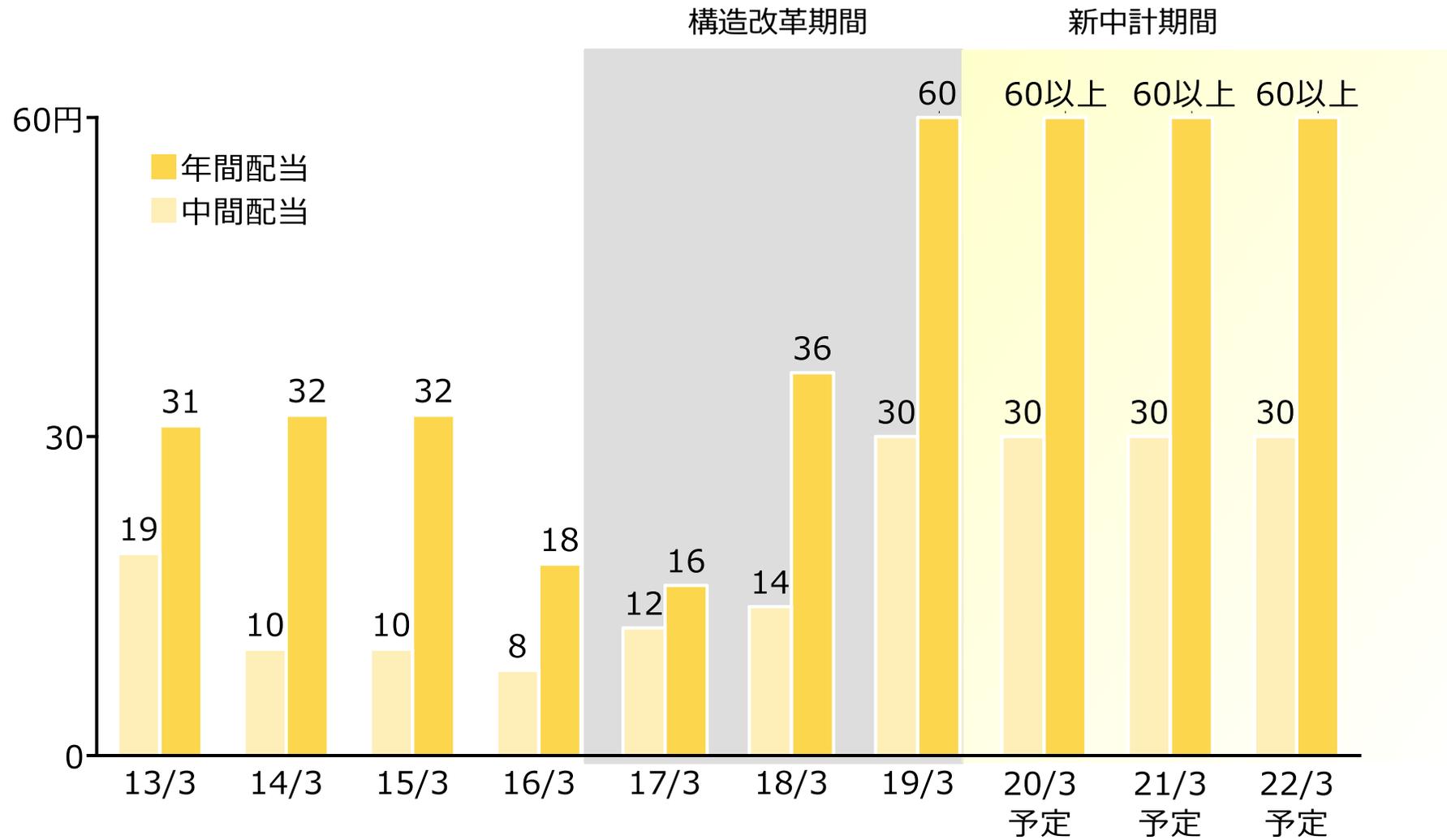


注：「研究開発投資」には、2018年3月期以降に行っている開発投資の一部資産化も含めて表示

# キャッシュフロー推移

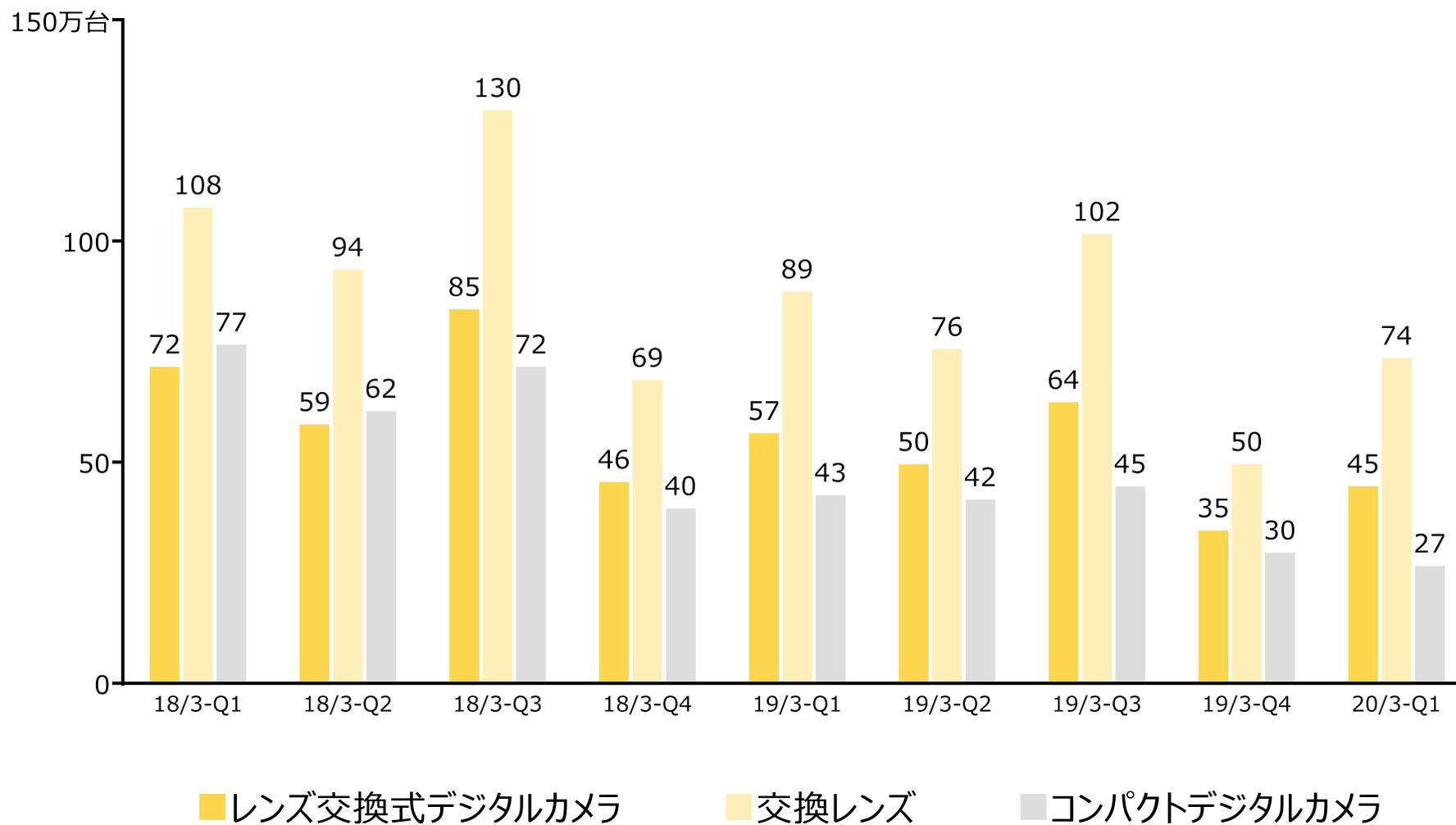


注: FCF (フリーキャッシュフロー) = 営業CF + 投資CF、2015年3月期以前は日本基準、2016年3月期以降は国際会計基準 (IFRS) で表示  
 FCF + 財務CF + 現金・現金同等物に係る換算差額 = 現金・現預金同等物期末残高増減

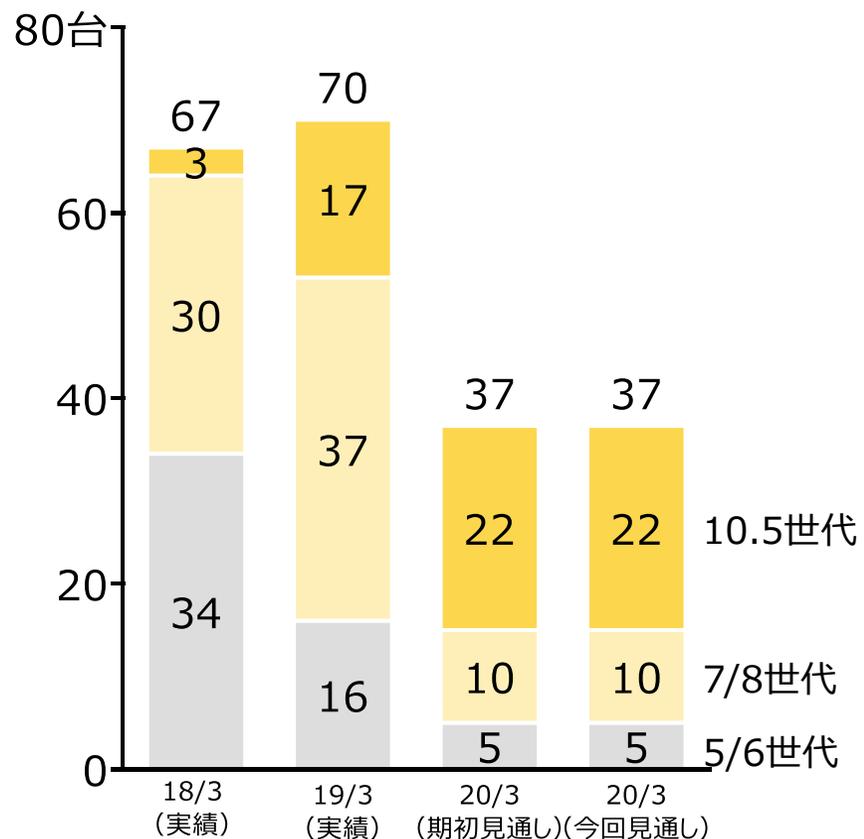


注：2020年3月期第1四半期に約100億円の自社株買いを実施

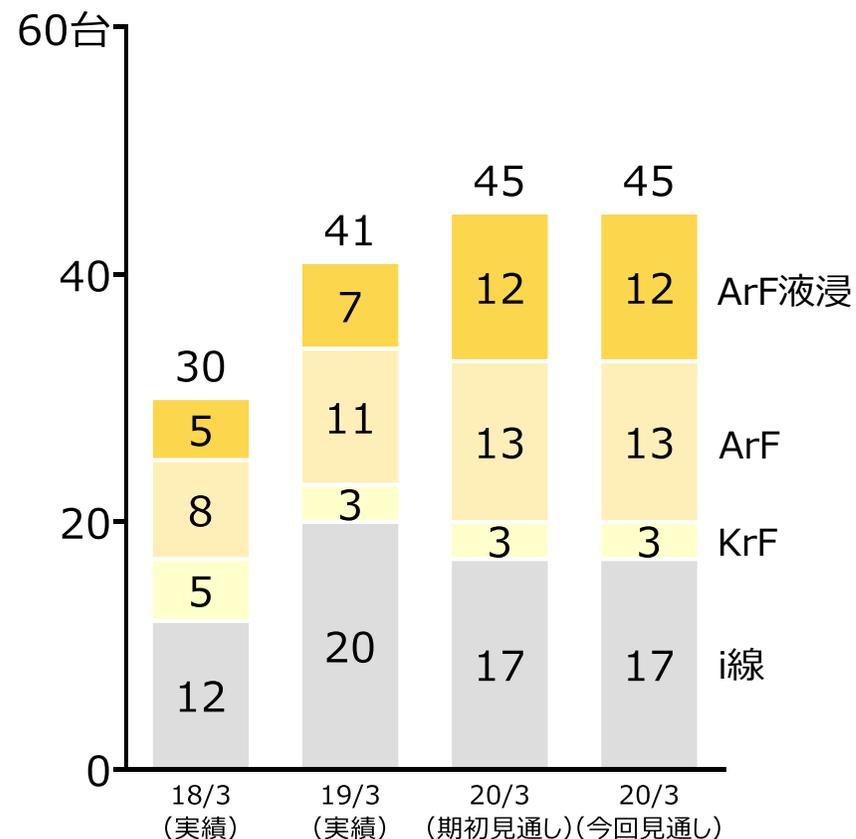
## 製品カテゴリー別内訳



## FPD露光装置世代別内訳

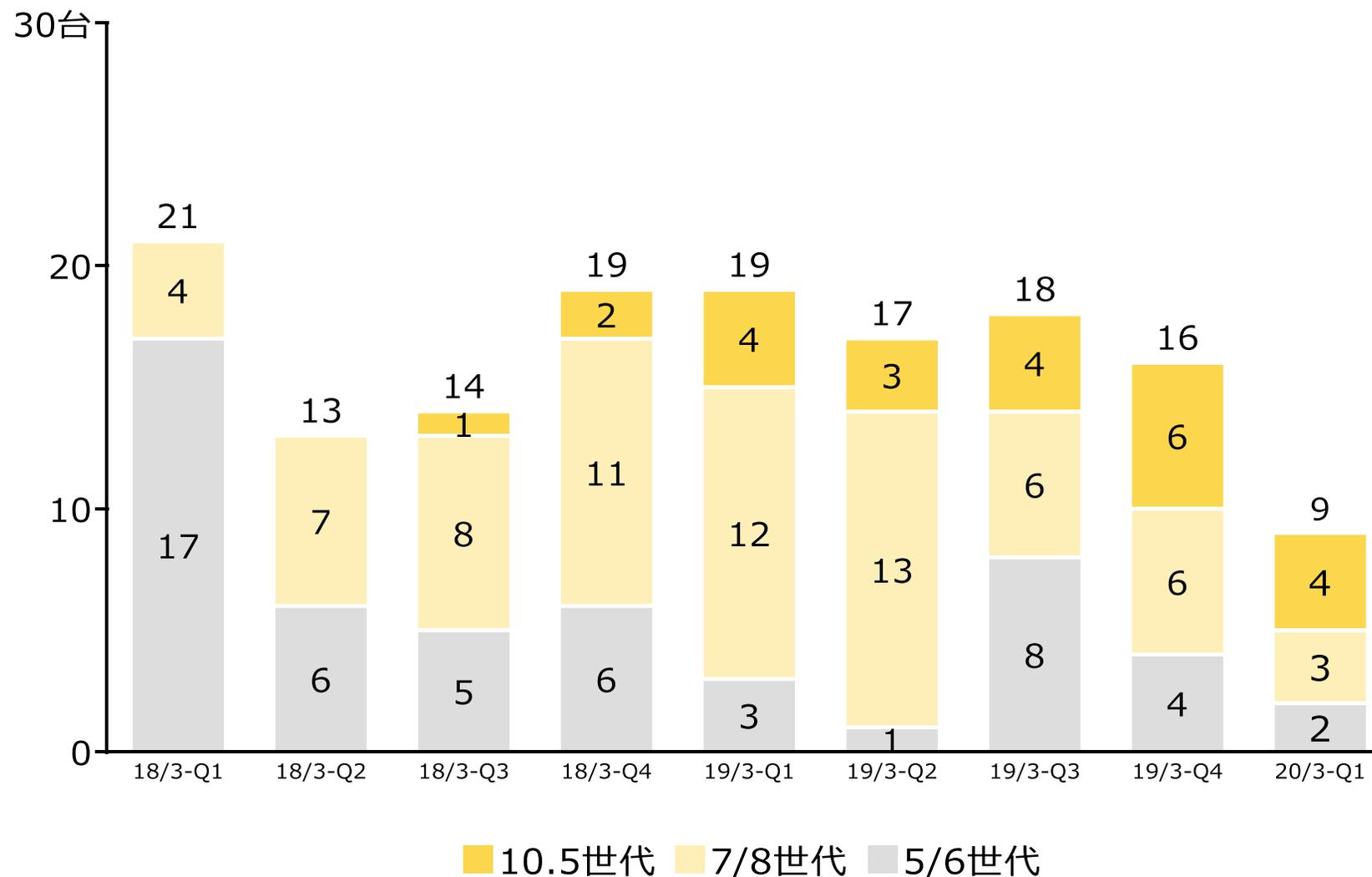


## 半導体露光装置光源別内訳 (中古含む)

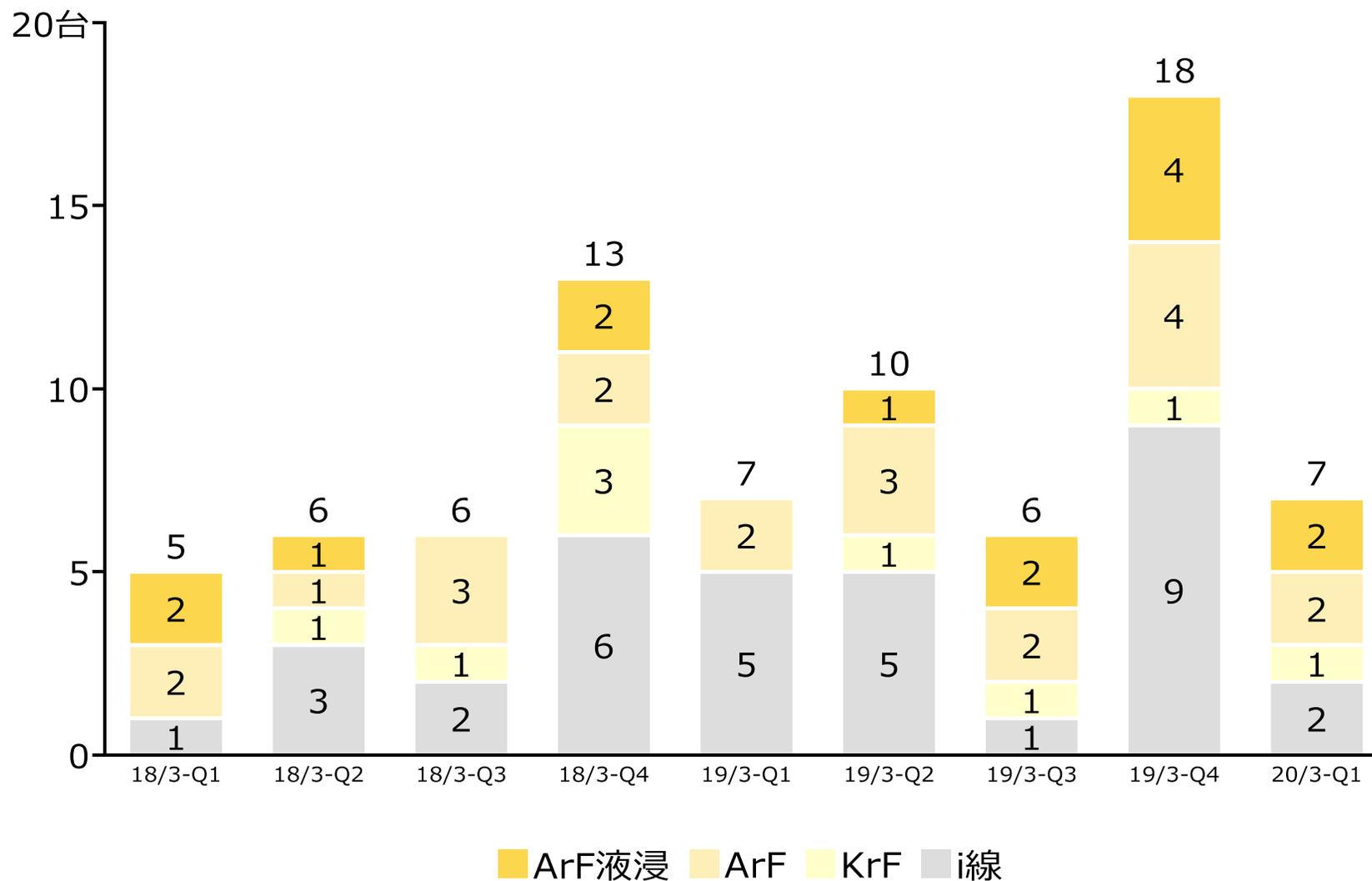


注：半導体露光装置の新品の台数は、2018年3月期は17台、2019年3月期は21台、2020年3月期は31台（予定）

## FPD露光装置世代別内訳



## 半導体露光装置光源別内訳 (中古含む)



# 2020年3月期 通期見通し：為替の影響



	為替レート	1円の変動による影響額	
	20年3月期 Q2～Q4前提	売上収益 Q2～Q4	営業利益 Q2～Q4
USドル	105円	約19億円	約3億円
ユーロ	125円	約5億円	約2億円

注：上記は新興国通貨がUSドル、ユーロに連動することを想定

